

ひとくろースアップ 起業家 さん 群像

◇27◇

社会を変える商品

ポンプの修理業から
出発した小松電機産
業。昭和六十年に発売
ヒット商品となったヒ
ニール製シートの自動
開閉シャッター門番
が経営基盤を固めた。
さらに集落排水処理施
設を遠隔監視・制御す
る「やくも水神」の開
発を進めた。

これまで排水の水質デー
タはオープンになっては
なかった。集落排水集中
御機器・やくも水神は、社
会を変える商品という意気
込みで開発を進めました。
四年前に発表した商品はこ
うした閉ざされた水質デー
タのオープン化を狙ったの
です。

水神を最初に導入したの
は滋賀県の琵琶町。知人の
紹介で琵琶町が第一号とな
ったのですが、その琵琶町

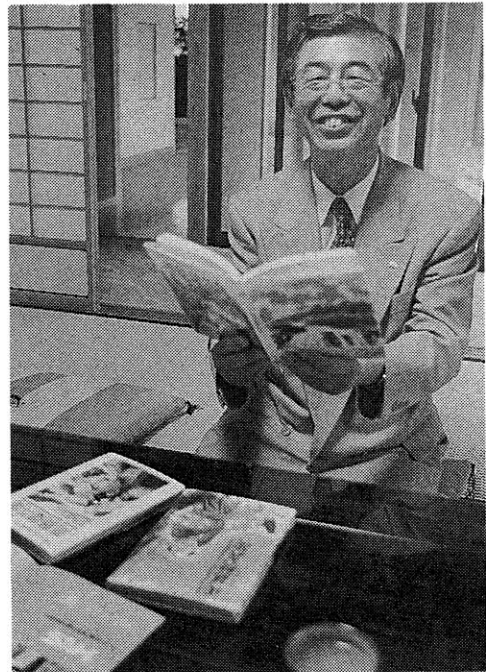
環境装置メーカー

小松電機産業 小松 昭夫社長(八雲)

〈下〉

を後に島根県内のある町が
視察したのです。視察者は
水神のメーカーを知らな
かった。納入業者として紹介
された名刺を見ると私の名
前があった。こういうのを
逆輸入と言っているのでしょ

水処理システム全国展開



社外機関・HNS研究所が出版した周藤彌兵衛の伝記を手に「生まれてきて良かった、と言え人を一人でも多く増やしたい」と語る小松昭夫社長

か。今では島根県内を中心
に全国五十カ所が使われる
ようになりました。
科技庁の注目発明に
やくも水神は、分散

している上・下水道の
処理施設やポンプ場の
稼働状況をコンピュータ
ターで計測、制御、監視
する。測定値は公衆の
電話回線でつながれた
画面で監視、広範囲に
点在する集落排水の処
理施設を効率隔運営で
きるとして、平成七年
及させたい。そうすれば二

に科学技術庁の注目発
明に選ばれた。
生活用水を処理して農業
用に再利用できれば今ある
水源をフルに活用できる。
そんな考えから一昨年に

ユー水神の効果为全国、世
界に発信できる。中海・宍
道湖畔のこの地を水の研究
のメッカにしたい。強い思
いがあります。

人材育成へ事業興し

昨年、社外機関HNS
S(人間・自然・科
学)研究所を設立。一
村一志運動を提唱し、
治水に功績のあった郷
士の先人の伝記出版な
どを通して若い人材の
育成、発掘につなご
うとしている。

製造業で上場企業のない
唯一の県が島根県です。起
業者が出てもなかなか育た
ない。「新たなことに挑戦
する人材を育てよう」とい
う土壌がないのが一番の欠
陥です。まずは機会を平等
に与えるフェアな精神が大
事ではないでしょうか。小
松電機産業では役員の子は
入社させないことにしてい
ます。社長も例外ではあり
ませんが、社員に平等にチャ
ンスを与えるためです。
何としても人材が育ち、

干陸に推進でも反対でも
ない、新たな道を探りまし
た。多様なアイデアが出て
くるきっかけになれば、と
いう思いもあります。
とにかく五つの事業興し
に向け、有志の研究会「ベ
ンチャーアカデミー太陽」
の結成準備を進めていま
す。新たな事業に賛同する
者が知恵を出す。その知恵
から練り上げられた計画に
対し資金を持つ者が金を出
す。それがベンチャーキャ
ピタルにつながるのではな
いでしょうか。すでに県内
外から百二十人が集まって
います。

座禅で死生観つかむ
佐藤造機を辞める年の
冬、会社を休み一カ月間安
来の清水寺に通いました。
座禅を組み、将来を考えた
のです。最初は「これから
どう生きるか」と思いを巡
らすんですが、なかなか答
えは見つかりませんでした。
どう生きようかなんて
考えるから難しくなるんで
すよね。だから「死ぬ時に
どうゆう風に死にたいか」
と考えた。その時です。
「ああ生まれて良かった。
楽しかったと思ってる
人生を送ろう」と心に決め
たのは。
「自分は生まれてきて良
かった」と言える人を一人
でも多く増やしていきたい
仕事だと思っています。
(聞き手は本社経済部・
金丸晃記者)

次回は、中村水産(浜田
市)の中村勝平社長を紹介
します。